

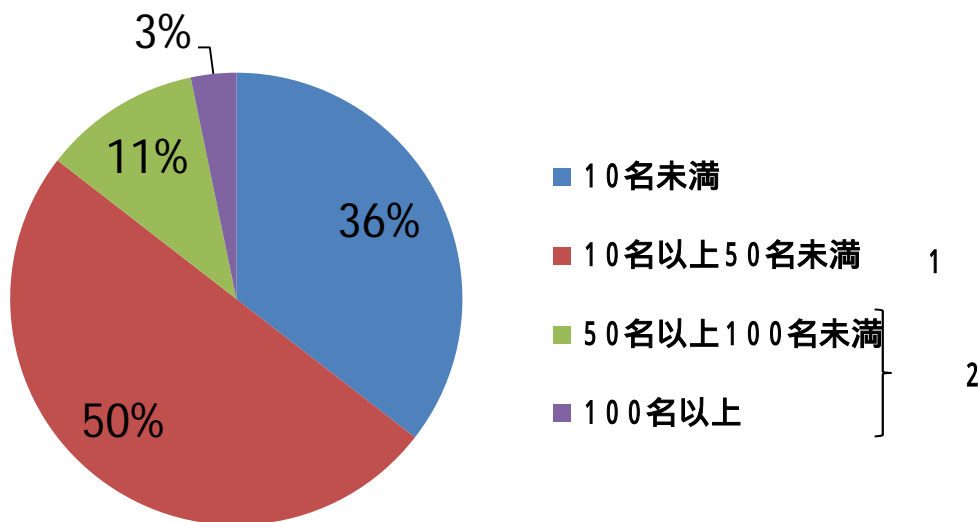
# 廃棄物処理業における職場の安全衛生自主点検結果

横浜南労働基準監督署

横浜南労働基準監督署は、平成26年6月に、廃棄物処理業の事業場に対して職場の安全衛生管理などの状況について自主点検を実施しました。

62事業場から回答があり、その結果は次の通りです。

回答事業場の労働者規模

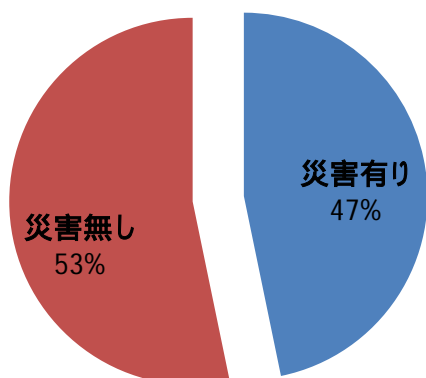


1 安全衛生推進者の選任義務があります。

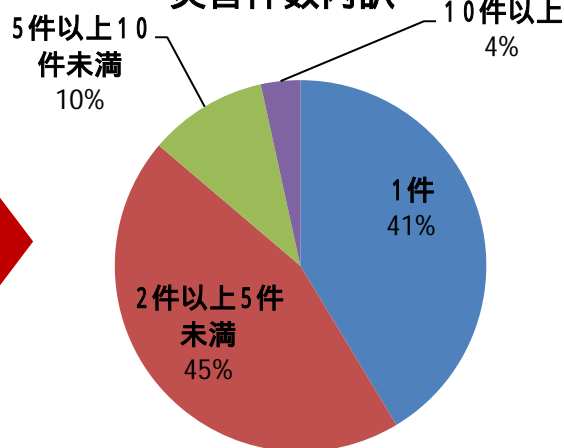
2 安全管理者、衛生管理者及び産業医の選任義務があります。

## 1 労働災害の発生について

過去3年間における休業災害有無

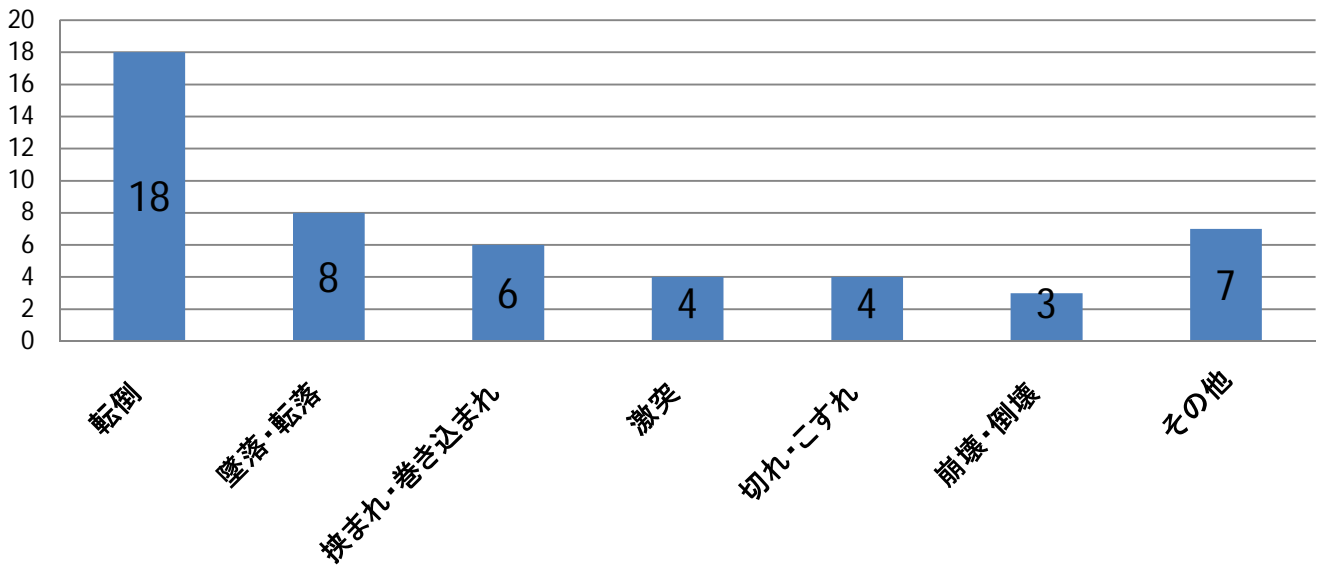


災害件数内訳



過去3年間に47%の事業場で休業災害が発生しており、災害発生事業場の半数以上が複数件の災害が発生しています。

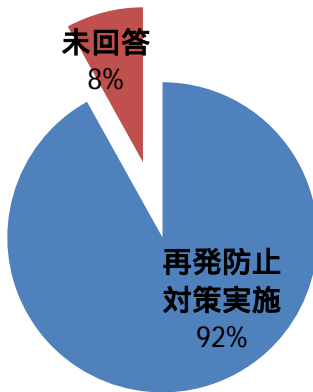
## 過去3年間の事故の型別災害発生状況



過去3年間に発生した休業災害の内容を事故の型別に分類すると、「転倒」が最も多く、次いで「墜落・転落」、「挟まれ・巻き込まれ」となっています。これらの型での災害の内容については次の通りです。

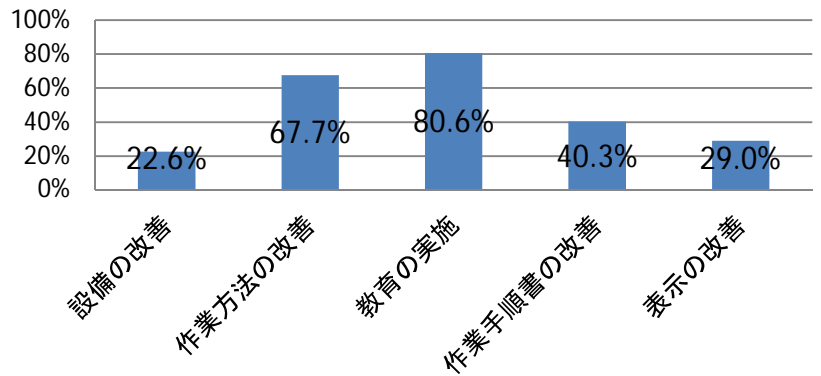
転倒	急いで作業中、通路で転倒する
	重機やトラック乗降時にバランスを崩して転倒する
	トラック荷台でバランスを崩し転倒する
	通路の段差でつまづき転倒する
	路面凍結により足を滑らせ転倒する
墜落・転落	トラック荷台で荷の積み込み・積降ろし中にバランス崩し墜落する
	トラック荷台上でシート掛け・シート外し中にバランス崩し墜落する
	脚立で作業中にバランス崩し墜落する
	階段でバランスを崩し・つまづき転落する
挟まれ・巻き込まれ	コンベア駆動部に巻き込まれる
	ローラー部に巻き込まれる
	パッカー車の回転盤に巻き込まれる
激突	よそ見していてコンテナ・トラックに激突する
	段差に気づかず激突する
切れ・こすれ	ガラス片・鋭利なゴミで手指を切る
崩壊・倒壊	トラック荷台上の荷が崩壊する
その他	パッカー車の回転盤での破砕時に生じた破片が飛来する
	重機に激突される
	重量物を運搬時に腰を痛める

## 再発防止対策実施状況



対策の内容

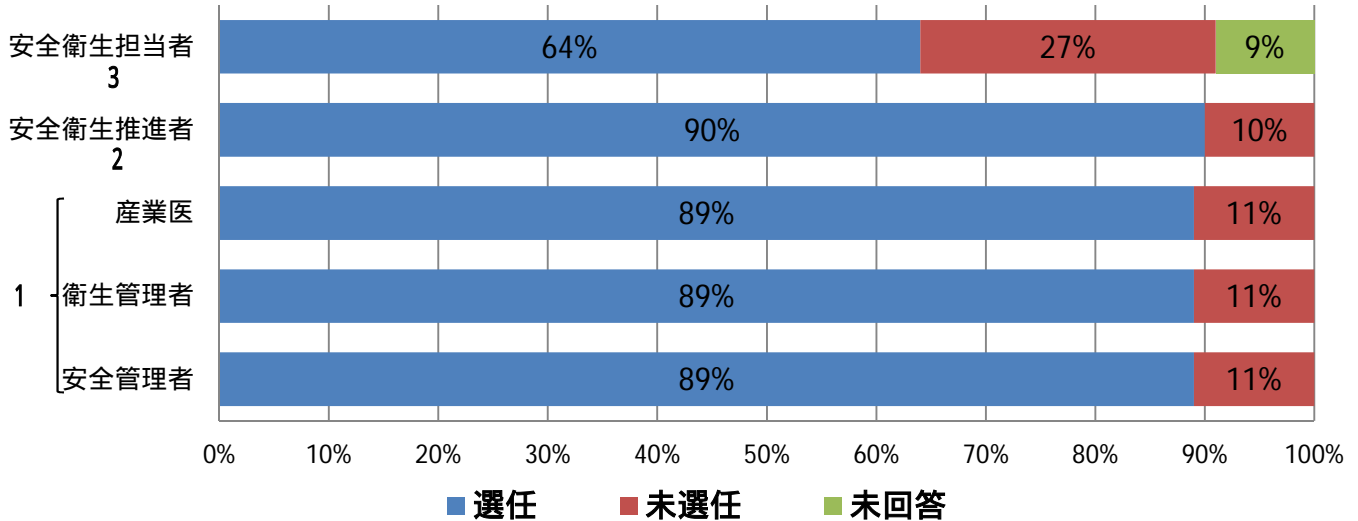
## 再発防止対策の内容(複数回答可)



労働災害発生事業場においては、90%以上の事業場で何らかの再発防止対策を実施しており、その半数以上で「教育の実施」や「作業方法の改善」で対応しています。ただし再発防止対策は本来、「設備の改善」を図り、作業者が不安全行動をしたとしても安全が確保される必要がありますが、その割合は22.6%と低くなっています。

## 2 安全衛生管理体制について

### 安全管理者等選任状況

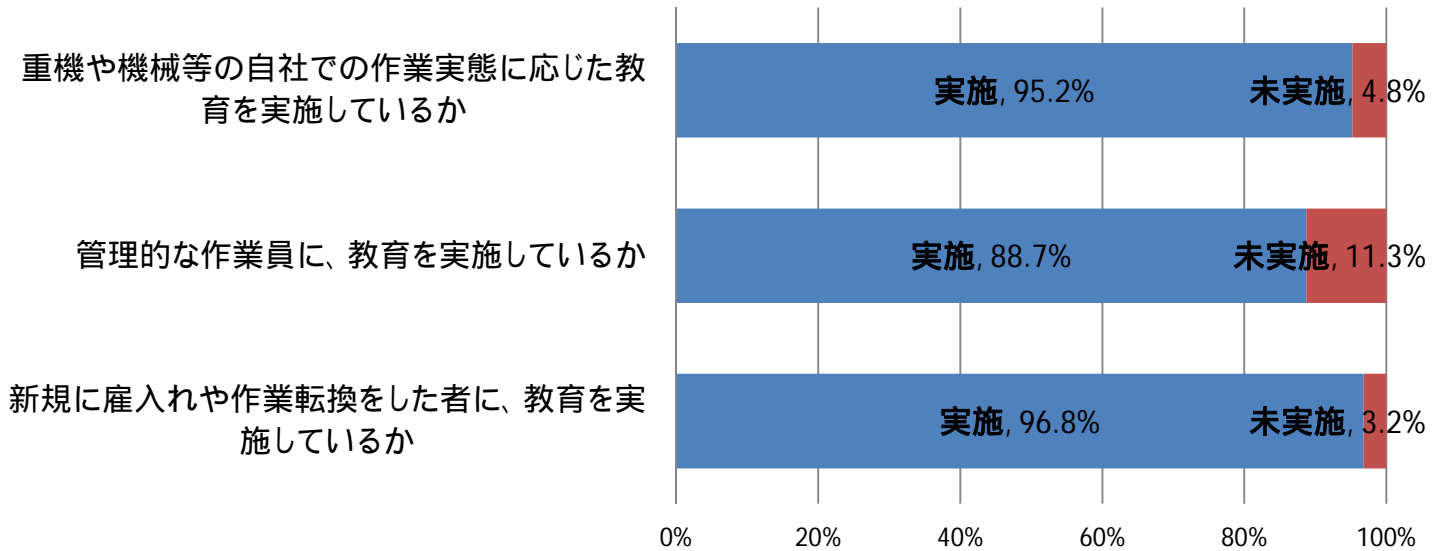


- 1 労働者数50名以上の事業場のみ計上
- 2 労働者数10名以上50名未満の事業場のみ計上
- 3 労働者数10名未満の事業場のみ計上

10名以上の事業場において、約90%の事業場が法定の安全衛生管理体制の構築が行われています。なお、10名未満の事業場においては特段安全衛生担当者の選任を法律で義務づけていないものの、60%以上の事業場が安全衛生担当者の選任を行っています。

### 3 安全衛生教育について

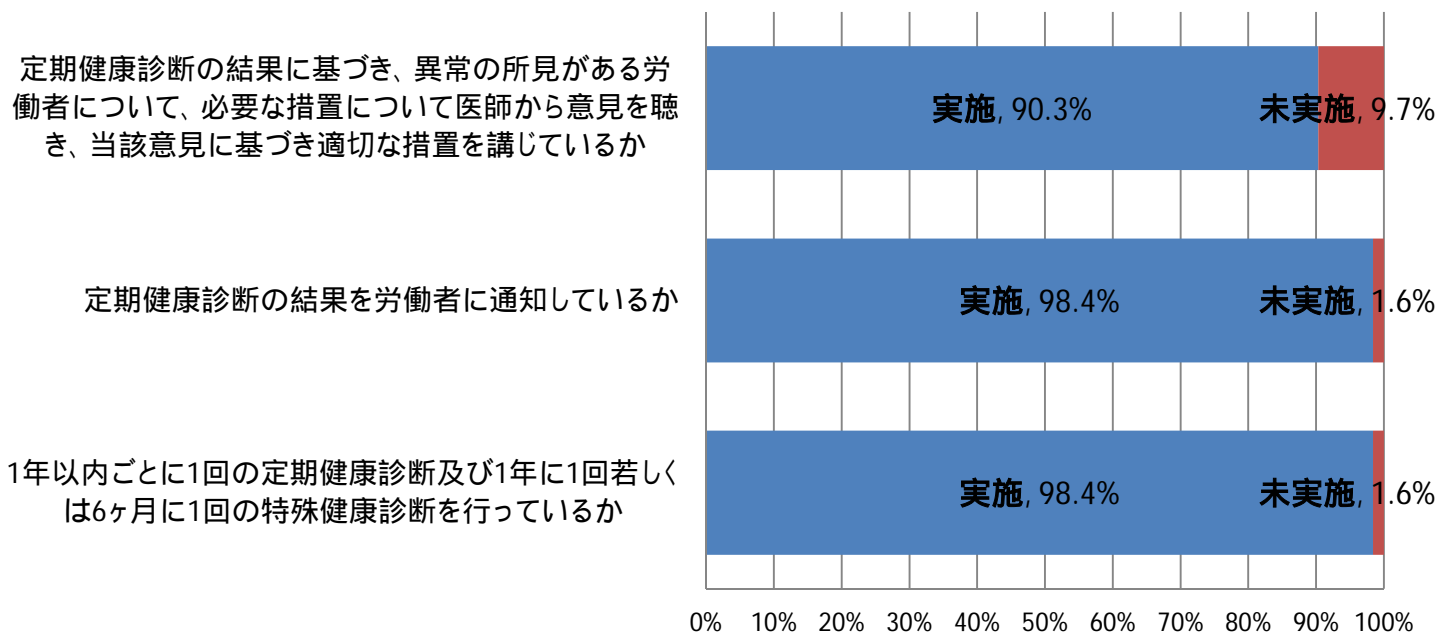
#### 安全衛生教育実施状況



法定教育である雇入時及び作業内容変更時の安全衛生教育はほぼ100%事業場で実施されています。また、廃棄物処理業では職長に対する安全衛生教育の実施は法律上義務づけられていないものの、90%弱の事業場で管理者に対する安全衛生教育の実施がされています。

### 4 健康管理について

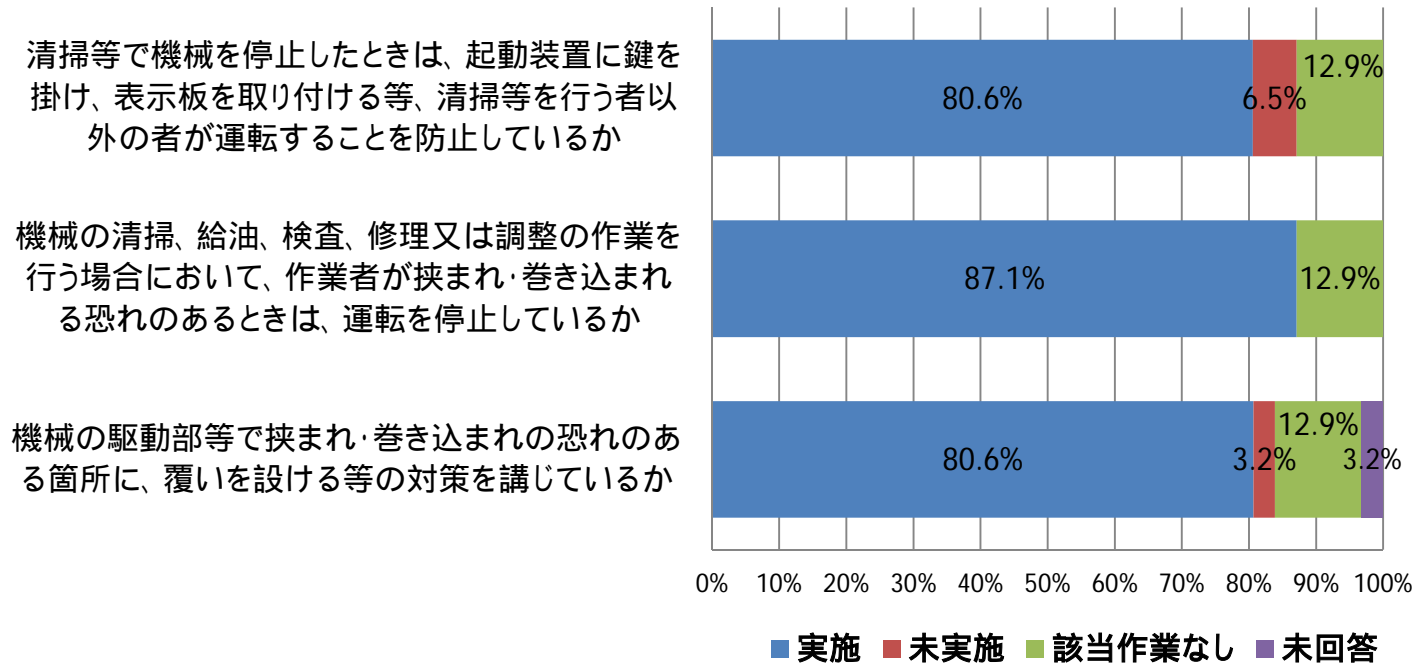
#### 健康管理実施状況



健康診断の実施及び当該結果の通知はほぼ100%の事業場で行われています。また、健康診断有所見者に対する医師からの意見聴取及び当該意見に基づく措置実施も90%以上で行われています。

## 5 機械への挟まれ・巻き込まれ災害防止対策について

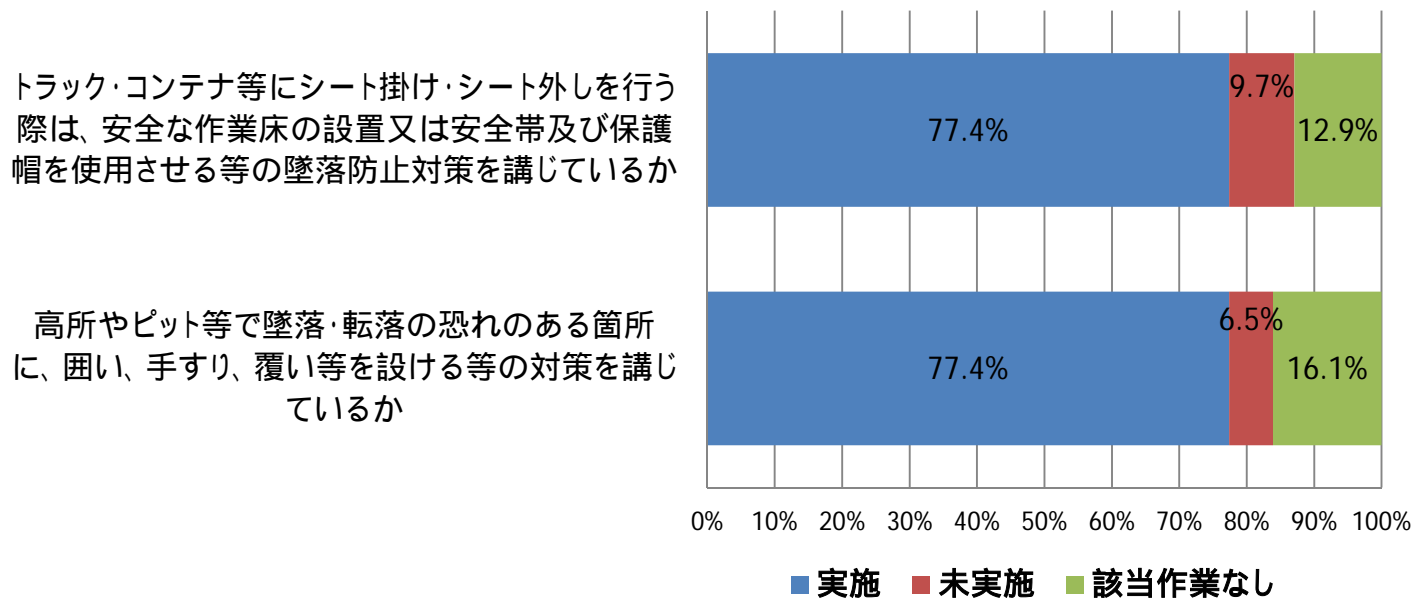
### 機械への挟まれ・巻き込まれ対策実施状況



機械への挟まれ・巻き込まれ対策が講じられていない事業場の割合は非常に少ない結果と少ない結果となっていますが、当署管内では昨年コンベア駆動部に全身を巻き込まれて死亡する災害が発生しており、機械の稼働状態においては、いかなる場合においても身体の一部が危険箇所に入り込まない構造とすることが望まれます。

## 6 墜落・転落災害防止対策について

### 墜落・転落対策実施状況

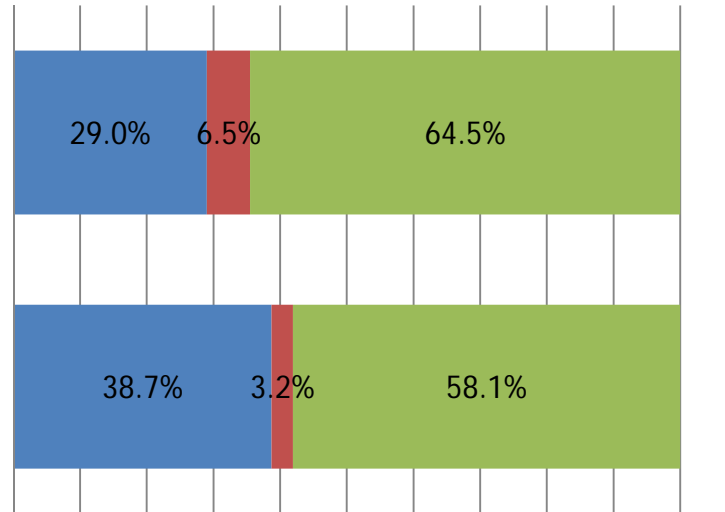


当署において廃棄物処理業における「墜落・転落」災害の発生件数は「転倒」の次に多く、重篤度が高いのも特徴です。点検結果では高い割合で対策が講じられていますが、保護具のみの対策の場合は、設備対策実施(手すりや作業床設置等)が望まれます。

## 7 化学物質等災害防止対策について

### 化学物質等対策実施状況

廃棄物貯留ピット、タンク、マンホール等の内部での作業で酸欠等の恐れがあるときは、その濃度を測定し、結果に基づき送風機の設置等の対策を講じているか



化学物質を処理する際は、その性状や危険性等を把握し、その結果に基づき爆発・火災対策及びばく露防止対策を講じているか

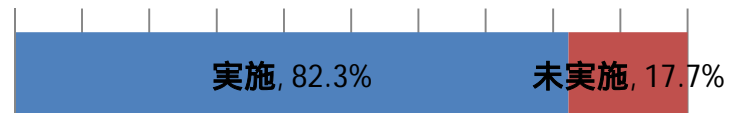


近年、取り扱う化学物質の性状や危険性を把握していない又は酸欠等の危険場所であることを認識していないことに起因する労働災害が見られます。自主点検の結果では多くの事業場で適正に把握・認識して対応している状況が見られますが、化学物質等が起因する災害は重篤度も高く、社会的関心も高いため、今後も適正な管理が望まれます。

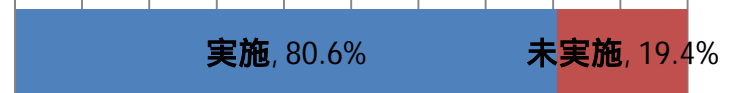
## 8 その他の労働災害防止対策について

### その他の対策実施状況

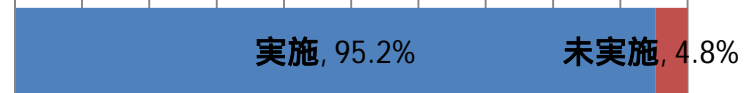
安全衛生活動の見える化を行っているか



職場の安全衛生パトロールを実施しているか



5S (整理・整頓・清掃・清潔・躰)を励行しているか



リスクアセスメントを実施しているか



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

「安全衛生活動の見える化」「職場安全衛生パトロールの実施」「5S活動の励行」の実施状況は80%を上回っているものの、災害を未然に防止するために非常に有効である「リスクアセスメント実施」が他に比べて割合が低くなっています。今後、リスクアセスメントの実施強化が災害減少のためには必要と考えられます。

# 自主点検結果から見える今後の課題

自主点検項目で未措置のものについては、法違反の可能性が高いことから計画的に改善してください。

なお、自主点検結果で各種措置などが実施されていると判断した事業場におきましても、廃棄物処理業においては災害が増加している現状を踏まえ、次の点に留意していただき、安全衛生管理の強化を図ってください。

## 1 安全衛生管理体制について

経営トップは安全管理者等の安全衛生担当者に対して災害防止のための職務遂行状況を報告させ、問題点を把握し、必要な措置方法を指示し、その実施状況を監督するなど事業場全体の安全衛生管理を責任をもって進めるよう努めてください。

## 2 安全衛生教育について

法定の安全衛生教育(雇入時及び作業内容変更時の安全衛生教育)だけではなく、労働者の職業生活を通じての継続的な教育を実施するために、中長期的な教育計画を作成するよう努めてください。

また、当該教育に係る実施責任者を選任し、実施、実施結果の記録、保存などの業務を行わせるよう努めてください。

## 3 健康管理について

健康診断の項目に異常の所見がある者をはじめ、それ以外の労働者に対しても、栄養改善・運動等に取り組むよう健康教育、健康相談を行い、労働者の健康保持増進に努めてください。

## 4 機械への挟まれ・巻き込まれ災害防止対策について

駆動部等で挟まれ・巻き込まれる恐れのある箇所に設置している囲い・覆いについて、それを取り外し、又は開放している間は機械を起動できないようにインターロック機構を設けるよう努めてください。

## 5 墜落・転落災害防止について

墜落・転落の恐れのある場所での作業について、当該場所で作業を行わない方法の採用を最優先で検討し、その結果、やむを得ず行わなければならない場合は、手すりや作業床の設置等の設備対策を講じるよう努めてください。なお、安易に保護帽や安全带等の保護具のみの対策とならないよう努めてください。

## 6 化学物質等災害防止対策について

化学物質による労働災害は、事業者及び労働者が化学物質の危険性有害性を知らなかったことを原因とするものが多く見られることから、SDS(安全データシート)を入手し、危険性又は有害性等の調査(リスクアセスメント)に基づき作業方法を決定するよう努めてください。

また、廃棄物貯留ピット等の酸欠危険場所での作業を行う際は、事前の測定及び当該測定結果に基づく換気等の対策を徹底してください。

## 7 その他の労働災害防止対策について

労働災害を未然に防止するためには、法令で定める最低限の事項の実施だけでは不十分であり、自主的に安全衛生活動を展開することが望まれます。

リスクアセスメントは、災害を未然に防止するために非常に有効な手法であり、洗い出されたリスクが法令に違反しないものであっても、可能な限り当該リスクを低減するための対策を自主的に講じるよう努めてください。